膜構造ジャーナル 論文執筆要領・テンプレート

サブタイトル

著者氏名１＊1

著者氏名２＊2

著者氏名３＊3

　論文の要旨を３００字以内にまとめる。〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

1.　はじめに

　論文作成にあたっては，このテンプレートに記載の要領で作成をお願いします。見本として入力されている文字の間に文字を入力して，入力後に不要文字を削除すると組体裁がそのまま残ります。先に削除すると書式設定がなくなることがあります。

　本文の書体「和文：MS明朝、章節の表題はMSゴシック／英文：Century（または Times New Roman）、章節の表題はArial」，文字の大きさ10pt，2段組み，１行27字，段間2字(6㎜)，行間14pt　50行，１頁(27文字×50行×2段＝2,700字詰)、余白　上20mm　下30mm　左右15mm。

　論文の総ページ数は10ページ以内としてください。

２.　タイトル・著者名・要旨について

　本文が和文の場合は和文タイトル，本文が英文の場合は英文タイトルを記載してください。著者名，要旨も同様です。

　タイトル　14pt　MS明朝　英数はCentury（または Times New Roman）　英文の場合はすべて大文字／サブタイトル　10.5pt　MS明朝　英数はCentury（または Times New Roman）　中央揃え。英文の場合は最初の1語のみ大文字としてください。

　和文著者名　10.5pt　MS明朝　＊(合い印)は全角＊を上付きにしてください。

　英文著者名（Namae MYOUZI )　 10.5pt　Century（または Times New Roman）

　要旨(Abstract)　論文の内容の主要な点を300字以内に簡潔にまとめ，本文の前に付けてください。10pt　行間1行(14pt相当)　，左右インデント　各４字。

|  |
| --- |
| ＊1　○○大学工学部建築学科　教授・工博 |
| ＊2　○○大学工学部建築学科　大学院生・学士（工学） |
| ＊3　□□建設株式会社 |

３.　見出し

　見出しには章番号を付けて10pt，和文はMSゴシック，英文はArialで記載してください。見出しの前は本文との間を１行空けてください。

４．既発表の内容の扱い

　他のジャーナルや学会誌，国際会議のProceeding等で発表された論文等を，本ジャーナルにも掲載を希望される場合は，その旨が分かるよう序章，参考文献に記述を必ず入れるとともに，本ジャーナルへの投稿にあたり行った変更点を明記してください。この場合，著作権の手続き等は著者の責任で行ってください。

５．連続する応募の扱い

　共通する主題のもとに連続する数編を執筆する場合，サブタイトルとして，その１，その２などを付してください。連続した数編を応募する場合には，前の編の査読終了後，続編が受理されます。

６.　 所属機関・学位

　論文の発表者全員の所属機関，職位，学位（和文名）を第1ページの脚注に記載してください。脚注はWordの「脚注」機能を使わずに表を使用して，罫なしで作成してください。

本文が和文の場合は和文，本文が英文の場合は英文で記載してください。9pts，和文はMS明朝，英文はCentury（または Times New Roman）で記載してください。

７．　図・表・写真

　図・表・写真には，内容を明確に表す表題を必ず付けてください。表題には，図・表・写真ごとに通し番号を付けてください。この時，章ごとに分けずに図１，図２…，表１，表２，…，写真１，写真２，…，Fig.1， Fig.2,…， Table1, Table2, …， Photo.1，Photo.2，…，などと記入してください。

　表題記入位置は，図・写真の場合その直下，表の場合はその直上とし，中央揃えにしてください。

　本文と表の間，本文と図の間，本文と写真の間は１行空けてください。

８．　数 式

　数式には，(1),(2),(3)など通し番号を付けてください。

表１　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

図１　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

写真１　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

参考文献（英語論文の場合：REFERENCES）

1)　参考文献表題は 9pt，和文はMSゴシック，英文はArial，本文と参考文献表題の間は１行空けてください。

2)　参考文献は9pt，和文はMS明朝，英文はCentury（または Times New Roman），行間9pt，複数行は１字下げてください。番号は片カッコ付きで数字は半角にしてください。

(１) 注および参考文献は，本文の後にそれぞれを使用順に番号を付け，まとめて掲載してください。

(２) 注および参考文献の番号は，本文中の引用箇所に肩付き文字1),2)のように明記してください。

(３) 参考文献の記載方法は以下の通りとします。

ａ．論文等の場合「著者名：表題, 誌名, Vol, No. ， 掲載ページ, 発行年月」の順とする。区切りのカンマ（,）は半角としその後に半角スペースを入れる。

ｂ．単行本の場合「著（編）者名：書名，発行所名，発行年」の順とする。

ｃ．著者名は必ず姓名で記す。著者が多い場合には，筆頭者以外は「ほか○名」で省略することもできる。

ｄ．欧文の場合には，筆頭者は姓を先に記す。また，連名者は「et al.」で省略することもできる。

ｅ．発行年月日は，原則として西暦で「1995.1」「1995.2」のように記す。

(４) 一般に公表されていない文献，たとえば未発表の論文，簡易印刷（コピーしたものなど）の委員会報告や社内報告および私信などは，文献として扱わない。必要とあれば注とし，引用箇所に肩つき文字注1)，注2)のように明記する。

(５) 図・表・写真などの引用・転載にあたっては，著者自身が原著者などの著作権所有者の許可をとらなければならない。

(６) 記載例

参考文献

1) 佐藤武夫, 川島定雄, 三木 韶：音響透過に関する実験（第３報）材料に対する音の投射角と遮音効果, 建築学会論文集大会号, 第１号, pp.210～217, 1936.3

2) 中村達太郎：日本建築語彙 丸善 1906, 新増補版 1956

3) Luco,J.E. and Westmann,R.A.:Dynamic Response of Circular Footings, Journal of the Engineering Mechanics, ASCE, Vol.97, pp.1381-1395, 1971.4

注（英語論文の場合：NOTES）

注1)注表題は 9pt　MSゴシック(英文はArial)　上１行アキ

注2)注の文字の大きさは 9pt　MS明朝（英文はCentury（または Times New Roman）） 行間　9pt　複数行は１字下げてください。番号は片カッコ付きで数字は半角にしてください。

９．英文要約または和文要約について

　本文が和文の場合は英文要約（600単語以内），本文が英文の場合は和文要約（3,000字以内）を論文の末尾に付ける。要約中には図表を挿入せず，本文図表の参照引用にとどめる。

Title

Sub title

Name 1 ＊1

Name 2 ＊2

Name 3 ＊3

Summary

＊1 Professor, Dept. of Architecture, Faculty of Engineering, ○○ University, Dr.Eng.

＊2 Graduate Student, Dept. of Architecture, Faculty of Engineering, ○○ University, B.Eng.

＊3 □□ Co., Ltd., Dr. Sc.